

市の注目事業を徹底評価！

# 議会による事業評価を実施



▲議長から市長へ提出の様子

富士市議会では議会基本条例に基づく独自の取組として、9月定例会決算審査に合わせて前年度執行の事業の評価を行っています。

今回は、一般・特別会計から3事業、企業会計から2事業を選定し、評価結果を市長に提出しました。

## 【事業の評価】

- A:十分評価できる
- B:やや評価できる
- C:あまり評価できない
- D:全く評価できない

## 【今後の方向性】

- 1:拡充する
- 2:継続する
- 3:改善し継続
- 4:大幅な見直し
- 5:縮小・廃止を検討

## 特別会計

## 駐車場運営事業費

鉄道駅・交通結節点周辺において、路上駐車の防止による自動車交通の円滑化や、車利用者の利便性を図ることを目的とした事業

評価  
**C**

## 【評価の理由】

- 駐車場の規模や収支状況の推移等に違いはあるものの、市民等が安心して駐車できる環境を整備してきたことは評価できる。
- 利用者が少なく有効利用されていない駐車場もあるにもかかわらず、精査や必要性の検証をせず、前例を踏襲してきたことから、効率的な運営がなされているとは言い難い。

方向性  
**4**

## 【今後への提案】

- 富士市行政経営プランにおける民間活力の導入を踏まえ、各駐車場のニーズ及び市直営の必要性を検証するとともに、民営化、もしくは売却を含めた大幅な見直しを求める。



## 男女共同参画推進事業費

男女共同参画を推進し、あらゆる場面で市民一人一人が十分に力を発揮できる活力ある社会を築くことを目的とした事業

評価  
**B**

## 【評価の理由】

- 地区推進員の活動により、男女共同参画の周知度や、家庭での育児の共同参画において漸進的な傾向にあることは評価できる。
- 地区推進員の選出にかかる町内会(区)長の負担が大きく、成り手不足の状況には課題がある。

方向性  
**3**

## 【今後への提案】

- 男女共同参画地区推進員の獲得に向け、活動内容が地域や市民全般に浸透するよう、周知活動を強化するほか、公募による選出など、今までのやり方にとらわれない選出方法も検討すべきである。
- 男女共同参画地区推進員の充実した活動ができるよう、研修体制の充実を期待する。

## 企業会計

## 簡易水道事業統合推進事業・簡易水道統合整備事業

市内の簡易水道事業の統合を推進するための調整を図るとともに、市上水道への簡易水道統合を進め一括して管理することで、水道水を安定供給することを目的とした事業

評価  
**B**

## 【評価の理由】

- 第一次富士市水道事業経営戦略プランにおいて簡易水道統合ビジョンを盛り込み、水道事業としては、おおむね計画どおりの事業進捗を達成していることは評価できる。
- 統合事業全体では遅れが生じている状況であり、過去の事業評価においても課題としていたことから、この点に関しては不十分であった。

方向性  
**3**

## 【今後への提案】

- 統合推進に当たっては、設備改修のために水道料金の値上げが必要なこと等、組合側に厳しい状況を理解してもらうことが必要であり、綿密な打合せや様々な支援が必要である。
- 統合に係る役割は水道事業会計だけでなく、一般会計における環境部環境総務課での対応も必要である。



## 老人クラブ活動推進事業費

悠容クラブの活動を促進することで健康で社会性を保持した自立生活を助長することを目的とした事業

評価  
**C**

## 【評価の理由】

- 働く高齢者の増加や生きがい活動の多様化により、悠容クラブの新規加入者数の減少等が進み、団体の自助努力や市の補助金交付等だけでは会員の減少に歯止めが利いていない。
- 対象世代に対する会員割合は3%台と少数だが、他の生きがい活動に対する支援の仕組みが少なく、高齢者全般を支援できていない。

方向性  
**3**

## 【今後への提案】

- 悠容クラブの活動に対する支援は継続する。
- 今後の高齢者の生きがい支援の在り方について再検討していくべきであり、ライフスタイルが多様化している高齢者の実態やニーズを調査し、新たな生きがい支援施策の展開を求める。

## 特別会計

## 中央病院ICT化推進事業

情報の電子化、共有化などICT化を推進することにより、診療情報等を有効活用し病院経営の効率化を図ることを目的とした事業

評価  
**B**

## 【評価の理由】

- 業務の効率化を図る第二次電子カルテシステムが稼働中であり、タブレット端末活用によるオンライン面会を導入したことなどは評価できる。
- 外来患者の待ち時間短縮や患者の利便性向上などにおいて、ICT活用による改善の余地がまだあり、今後の課題となる部分が大きい。

方向性  
**1**

## 【今後への提案】

- ICTに関する専門職員の育成・配置やデジタル推進課との連携を行い、さらなる経営の効率化や患者サービスの向上を図るために、ICT化を積極的に推進すべきである。